

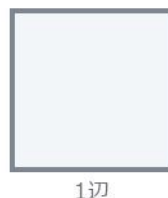
図の名前だけでなく、「どの長さを使うか」まで確認しよう。

小4 長方形



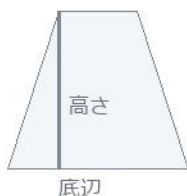
$$\text{たて} \times \text{よこ}$$

小4 正方形



$$1\text{辺} \times 1\text{辺}$$

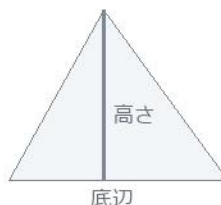
小5 平行四辺形



$$\text{底辺} \times \text{高さ}$$

斜めの辺ではなく、
底辺に垂直な高さを使う。

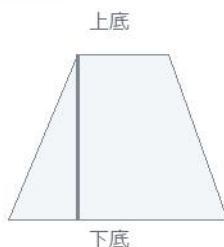
小5 三角形



$$\text{底辺} \times \text{高さ} \div 2$$

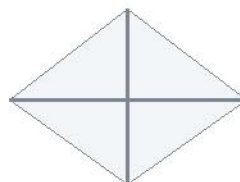
同じ底辺・高さの
平行四辺形の半分。

小5 台形



$$(\text{上底} + \text{下底}) \times \text{高さ} \div 2$$

小5 ひし形



$$\text{対角線} \times \text{対角線} \div 2$$

まちがえやすいポイント

- ① 底辺と高さは、直角（90°）に交わる組み合わせを選ぶ。
- ② 三角形・台形・ひし形は、最後の「÷2」を忘れない。
- ③ 面積の単位は cm^2 、 m^2 。長さの cm 、 m と区別する。
- ④ 面積から辺を求めるときは、公式を□の式にして逆算する。

円では半径、複合図形では「分ける／引く」を図に書き込もう。

小6 円



$$\text{半径} \times \text{半径} \times 3.14$$

直径が書かれていたら、
まず2で割って半径にする。

小6 おうぎ形



$$\text{円の面積} \times \text{中心角} \div 360$$

円全体の何分のいくつかを
中心角で考える。

中受 複合図形



分けて足す / 全体から引く

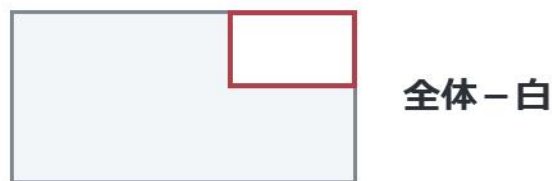
同じ図でも2通りで求められる。式が同じ答えになるか確かめよう。

複合図形の2つの考え方

A 分けて足す



B 全体から引く



使う前のチェック

- ☐ 直径と半径を取りちがえていない？
- ☐ 3.14をかける場所と、中心角で割る場所は合っている？
- ☐ 色のついた部分だけを求めている？